

～当院での無痛分娩の流れ～

妊婦健診

主治医に無痛分娩の希望があると伝えて下さい



主治医が適応を確認し予約します



血液検査・麻酔科の診察を受けます(自費)



主治医より誘導分娩等の説明を受けます

入院

日曜日

14時00分 8階南病棟に入院します
分娩監視装置を装着します
診察後、必要に応じ頸管拡張します
・シャワーや食事は自由に過ごすことができます

月曜日

5時30分 分娩室に入室します
6時00分 診察後、陣痛促進剤を内服します
9時00分 診察後に点滴による陣痛促進剤
の投与を行います

分娩の進行や痛みに合わせて
無痛分娩を開始します。

当日の分娩が見込めない場合は
無痛分娩は終了します。

～メモ～

無痛分娩のご案内

当院で
無痛分娩（麻酔による産痛緩和）
を開始します。



産科・麻酔科・小児科



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター
Kitakyushu Municipal Medical Center



住所 〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号

最寄り駅 北九州モノレール「旦過駅」から徒歩2分

TEL 093-541-1831(代表)

FAX 093-533-8693

無痛分娩とは

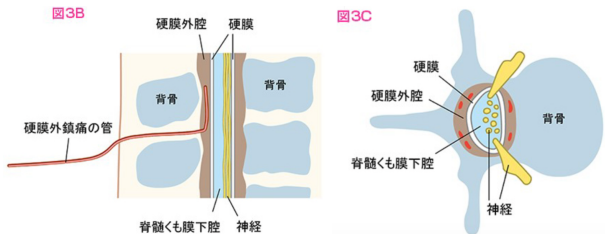
麻酔を用いて産痛を緩和(鎮痛)しながら
お産をすることです。

当院では硬膜外麻酔または脊髄くも膜下硬膜外
併用麻酔による産痛緩和を行います。

また陣痛促進剤を用いて計画無痛分娩のみで
対応します。

★麻酔は当院麻酔科専門医が穿刺・管理します

- ・硬膜外鎮痛法は背骨にある「硬膜外腔」という部分に細くて柔らかい管を入れ、管から薬を注入し痛みを和らげる方法です。
- ・脊髄くも膜下硬膜外併用鎮痛とは、「脊髄くも膜下腔」と「硬膜外腔」の両方に薬を投与し、産痛を抑える方法です。



～過ごし方と注意点～

- ・麻酔を行う際は座位となります。
- ・麻酔後はベッド上で過ごします。
- ・無痛分娩中は血圧、酸素飽和度の測定し、胎児心拍は連続モニタリングを行います。
- ・無痛分娩中は絶食ですが、水・お茶は飲むことができます。
- ・トイレに行けないため、導尿します。

利点

- ・硬膜外麻酔による鎮痛効果は強く、痛みを軽くすることができます。
- ・産後の疲労を軽減します。
- ・お母さんの神経に直接作用するため、赤ちゃんへの影響はほとんどありません。

起こりうる問題点

- ・お産が長引くことがあり、吸引分娩を必要とする可能性があります。
- ・血圧が下がることがあります。
- ・下半身に力が入りにくくなることがあります。
- ・尿意が感じにくくなることがあります。
- ・顔やからだがかゆくなることがあります。
- ・熱が出ることがあります。
- ・お産後に頭痛を起こすことがあります。
- ・カテーテルが血管内やくも膜下腔に迷入することがあります。

★詳しく無痛分娩について知りたい方は

こちらのURLをご参照ください。

一般社団法人 日本産科麻酔科学会 無痛分娩Q&A

<https://www.jsap.com/general/painless>

参考：

- ・一般社団法人 日本産科麻酔科学会 無痛分娩Q&A
- ・硬膜外無痛分娩 第4版 安全に行うために 照井克生・野口翔平(著)

当院での無痛分娩が対象となる 産婦さん

- ・当院で妊婦健診を受けている
 - ・単胎妊娠、経産婦
 - ・妊娠37週以降42週未満
 - ・分娩当日までにBMIが35未満
 - ・産科的合併症がない
 - ・基礎疾患を持たない
 - ・主治医が許可している
 - ・以上全てを満たす方
- 2025年9月現在
*随時変更となる可能性があります

*計画無痛分娩のみです。

*先着順で予約を行いますので、
主治医に希望を伝えて下さい。

*麻酔前検査(血液検査)として費用がかかります。

*無痛分娩外来の費用がかかります。

*無痛分娩費用は10万円(自費)です。

(麻酔を受けた時点で費用は発生します)

*総分娩費用は約70万円(無痛分娩、誘導分娩を含む)
がかかります。

当院ではお母さんと赤ちゃんの安全を第一に
全身状態に十分に注意し無痛分娩を提供します。
不安や疑問・不明点がある場合はご質問ください。